

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	平成28年2月24日(水) 午後1時30分から午後3時10分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、 小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、清水三枝委員、 下村晴一委員、関本吉人委員、塚越洋子委員、西村勇委員、宮崎涼委員、 宮下正明委員、横井優司委員、吉田暘一委員 【欠席委員3名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、 石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、高野市民サービス課長、 横井産業観光課長、芦田建設課長、池内丸子学校給食センター所長、 土屋丸子・武石上下水道課課長補佐、翠川商工観光係長 (事務局)柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	一般0人・報道2人
8	会議概要作成年月日	平成28年3月4日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (丸山センター次長)	
2	会長あいさつ	
3	協議事項	
(1)	上田市鹿教湯温泉国民宿舎鹿月荘及び上田市鹿教湯温泉健康センター(クアハウスかけゆ)の今後のあり方にかかる報告について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・両施設のあり方を検討した協議結果報告書(案)の提案 ・丸子温泉郷：昭和31年に国民保養温泉地の指定。利用者のピークは昭和53年。 ・鹿月荘：平成3年の利用者28,656人。平成26年には12,025人。6割減少。しかし、市からの指定管理料(公費負担)は増加傾向にある。24年と26年の比較で倍近い金額に。毎年の借地料の支払いも300万円以上。 ・クアハウスかけゆ：ここ3年は横ばい若しくは微増の状況であるが、過去からの推移では減少傾向。市からの指定管理料(公費負担)も21年から26年にかけて増加傾向にあり、平成26年には3千5百万円余り。 ・調査結果の考察 鹿月荘：施設存続に向けた地域の声は過半数を超えている。しかし、年間1千万を超える公的支出と施設老朽化による維持経費の増加の現状がある。存続を希望するアンケート回答からは「安価で安心」「身近な保養施設」であり地元で愛されている。廃止希望の回答には、「行政がかかわる必要はない」民間事業者で対応可、施設老朽化に維持管理費支出増加の理由。どちらでもよいの意見として、日帰り温泉への改築などの意見あり。 クアハウスかけゆ：地域の健康増進施設として、施設存続へむけた地域の声は過半数を超えている。しかし、年間3千万円を超える多額の公費支出と施設老朽化による維持経費の増加。存続意見として「健康増進施設」「高齢化社会対応」の施設の必要性。廃止希望の意見として、「老朽化による改修費増加」や立地条件を理由とするもの。どちらでもよいの意見の中には、介護予防など特徴的な事業推進、日帰り温泉としての運営などの意見あり。 ・両施設ともに、運営継続か廃止かの判断は先延ばしにせず、短期間のうちに答えを出す必要がある。 ・以降、協議。 (委員) 短期間のうちに答えを出す必要があるとのことだが、どの程度の期間の想定か。 (行政) 指定管理期間は両施設とも26年度から28年度の3カ年間。もう一期3年を延長するなかで判断したい。 (委員) 地元としては残して欲しいということですが、増大する公的支出も考慮すべき。現地をみるとかなり老朽化していて、修繕費もかかる。 	

(委員) 武石の雲溪荘や他の地域の施設はどんな状況で、どのように費用がかかるのか。他地域ではどんな検討がなされているか。

(委員) 住民の中にも両施設の運営状況が厳しいとの認識が広がっていると思う。日帰り施設としての運営など多面的に検討を。

(委員) 現地視察をしてみて、クアハウスの温泉管の修繕など、かなり危機的状況だと認識した。鹿月荘の圧迫感を感じる旧式の部屋スタイルを考えると、今後状況はもっと厳しくなると思う。

(委員) 「短期間」という説明の中には、施設の老朽化の最低限の修理をしながら3年間経過をみるということか。また、アンケートで「残したい」が半数以上だが、市内利用者は2割。住民が支えていくという意識はあるのか。

(行政) 3年間というのは、指定管理を延長した場合の契約期間にあたる。いずれにしろ10年、20年というスパンではない。修繕も機械が壊れて使えないなどの緊急的修繕にとどめる。市の関係者にもできるだけ利用していただきたい。

(委員) 修繕を考えると、経営の立て直しのため、今のままの状態が続けていて本当に改善されるのかという疑問は残る。

(委員) 3年の延長では、微増はあるにせよ、根本的な改善はありえない。もっと抜本的な改善、改革を。上田市の健幸都市の目玉として造りかえるとか。国民宿舎という考え方をすてて、クアハウスと連動した施設もいい。鹿教湯の目玉になりうるような形での提案を。

(委員) 地元若手経営者の間の議題にもなるが、「国民宿舎」のブランドも捨てがたいし、クアハウスは鹿教湯温泉が第1号に認定された歴史もあって、残したいという意見もある。

(行政) 市内にも類似の施設がいくつかある。もし可能なら、他の施設の指定管理状況の資料を3月15日にお渡ししたい。

(委員) 日帰り温泉と併用という案もあるようですが、それも費用がかかるのか。

(行政) 現在の日帰り施設は大きなお風呂や無料の休憩場所が必須だが、クアハウスには休憩場所がほとんどない。構造上、エレベータも無いし、両施設の内部の行き来が出来ない。鹿月荘の大広間を代用することは、お年寄りには厳しいだろう。

(会長) 分科会で検討後、3月に市へ報告したい。

(2) 平成28年度当初予算に係る持ち寄り基金充当予定事業について

- ・「依田川リバーフロント市民協働事業」予算額15,723千円。ウォーキングロード整備と芝生公園芝張り。
- ・「オート三輪消防車・四輪トラック消防車活用事業」予算額700千円。各種イベントへの出展費用。
- ・「観光宣伝事業」予算額500千円。鹿教湯温泉ふれあいノルディックウォーキングフェスタに係る経費。
- ・以降、協議。

(委員) リバーフロント事業、進捗は何割くらいか。

(行政) 計画では27年度で芝生張り、ウォーキングロードの道型付け。遅れのため、28年度へ繰り越して実施する。計画分は28年度で完成予定。

(委員) 周辺の環境整備。伐採したアカシアなど、もとに戻り始めている。

(委員) 環境整備は、他の自治会でもやっているように、地域の河川愛護の中で行うのが公平ではないか。

(行政) 周辺河川域の環境整備に持ち寄り基金は入れていない。修学館高校の生徒さんのお手伝いにより、除草やアカシア伐採を行った。

(委員) ノルディックウォーキングフェスタはいつ行われるのか。毎年、持ち寄り基金が使われるのか。

(行政) 昨年は10月の最終土曜日に実施。28年度も実施したい。事業予算は要求するが、財政課の判断になる。

4 報告事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業選考要領の変更について

- ・基本的な手順・審査方法には変更なし。今後審査時、従来のE評定の理由付記に加え、新たにD評定「あまり評価できない」を付した際にも理由を記入することとなった。

(2) 新たな奨学制度について

- ・基本的な考え方として、1) 従来の制度は終了、2) 27年度までに奨学金の決定を受けた者への卒業までの経過措置。その部分の事務担当は現担当課で。3) 当面、各育英会の持ち寄り財源をもと

に実施。制度の範囲は国と県が行っている奨学制度を市が補完していくという考え。

- ・事業内容：高校生を保護者を対象に返済の無い奨学金を支給する。
- ・支給額は高校生一人につき年額 59,500 円。
- ・主なポイント：義務教育課程に続く切れ目の無い支援。県と国の制度が対象外としている課税世帯の低所得者をカバーする市の単独給付。貸与が必要な高校生は県の貸与制度も併せて利用可。県下最大規模の奨学給付制度。
- ・申請は 7 月頃、給付は 10 月予定。次年度からは年 1 回申請で、支給は年 2 回。
- ・来年度対象者 100 人の見込み。年間 600 万円程度の予算。丸子地域は 18 人程度対象に。

(3) 第 5 回市民活動団体交流会の開催報告について

- ・交流会の実行委員会座長より、盛大に開催できたことへの謝辞。
- ・当日は、パネル展示発表、21 団体から活動実績報告、質問や意見交換、4 グループから討議内容の紹介があった。
- ・事業の場所や活動内容を示したマップの作成を。活動をお互い共有し、連携を深めるのがよい。また、活動内容を地域に知ってもらうための広報活動は必要との座長総括あり。
- ・新しいまちづくりのなかへ、活動団体を取り込んでいく。協働のまちづくりの推進に繋がる。
- ・魅力アップ応援事業は、まちづくりに欠かせないものである（座長）。

(4) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について

- ・丸子自治会長連絡会（2 月 8 日）への新しい住民自治組織概要について報告した。
- ・丸子地域の住民自治組織「丸子まちづくり会議」は一つとする。3 月 29 日設立。
- ・第 2 回丸子まちづくり会議役員選考委員会（2 月 15 日）開催の報告。
- ・タウンミーティングの開催状況報告。

(5) 分科会及び研究会での検討状況について

ア 丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・1 月 27 日に分科会開催。
- ・意見書の回答内容を子育てサロンと中丸子・西内支援センターへ掲示してお知らせする。
- ・本日の分科会は、「まるっ子カレンダー」について丸子地域教育事務所と意見交換予定。
- ・第 6 期丸子地域協議会への申し送り事項について。

イ 公共交通に関する分科会

- ・1 月 27 日分科会開催。
- ・予算の関係等、進捗に厳しい問題がある現状。
- ・第 6 期丸子地域協議会への申し送り事項の検討。
- ・本日の分科会では、千曲バスの提案内容について事務局から報告予定。

ウ 新しい観光に関する分科会

- ・鹿月荘・クアハウスのあり方の協議報告書について。
- ・第 6 期丸子地域協議会への申し送り事項について検討。

5 その他

(1) 第 5 期丸子地域協議会委員のアンケート調査について

- ・第 5 期の地域協議会を振り返ってのアンケート調査。任意提出。今後の参考のため実施。

(2) 次回以降の会議日程について

第 13 回協議会 3 月 15 日（火）午後 3 時 00 分 丸子地域自治センター 4 階講堂
(第 6 期丸子地域協議会)

委嘱式 4 月 19 日（火）午後 1 時 30 分 上田創造館大ホール

第 1 回協議会 4 月 19 日（火）午後 3 時 30 分予定 丸子地域自治センター 4 階講堂

(2) その他

- ・(委員) 本日の新聞記事の下武石のし尿処理施設建設計画について、現状を伺いたい。すぐ近くが

丸子の浄水場の取水場所となっているため心配である。環境面も含めて、影響についてどうなのか。

(行政) 現在、把握していない。把握次第お知らせする。

6 閉会

* 本日の分科会等の開催

子育て支援分科会 2階第6会議室

公共交通分科会 3階第1会議室

新しい観光分科会 2階第5会議室